



しいの実

第21号

鈴鹿市立鈴西小学校

学校教育目標「夢と笑顔と緑がいっぱいの学校」



■ 人権フォーラム鈴峰

12月9日に鈴峰中学校区の各小学校の代表者と中学校の代表者が一堂に会して人権について話し合う「人権フォーラム鈴峰」が実施されました。今年度のテーマは「一人ひとりの違いを認め合い、居心地のよい地域づくりをめざして」でした。4つの班に分かれ事前に各学校で学習してきたことに自分の考えを加えながら意見交流をしました。鈴西小の代表の児童もそれぞれの班で堂々と意見を言っている姿は大変頼もしいものでした。最後の意見交流では、「相手の立場を尊重し、互いに共感し合うことで居心地のよい地域になる。」などの意見が報告されました。地域の方にもご参加いただき各班の話し合いの中で、ご意見をいただきました。人生の先輩としての貴重なご意見ありがとうございました。

最後に、中学生による「鈴峰中学校区人権宣言」が発表されて閉会しました。

「鈴峰中学校区人権宣言」

- 一、相手の目を見て、元気よくあいさつしよう。
- 一、相手の気持ちを考えて、思いやりのある行動をしよう。
- 一、お互いの良いところを見つけ、認め合おう。
- 一、一人ひとりの違いを個性として受けとめて、互いに尊重し合おう。
- 一、いじめがない、いじめをおこさない、
みんなが笑顔で安心して生活できる学校づくりをしよう。

■ サーチ学習

12月13日に高学年のサーチ学習がありました。

今年度は、お茶について探究しています。今回は、これまでの学習で自分たちなりに発見した「おいしいお茶のいれ方」で交流する時間でした。各班、お湯の温度や茶葉の量など、こだわりのポイントについて調べた結果を発表した後、実際にお茶をいれ、来てくれた相手にふるまっていました。当然「味」という感覚的な尺度の評価ですから、同じお茶を飲んでも「おいしい」という子もいれば「にがい」という子もいました。



■ 思い出の場所

今年度も6年生は名村一宏地域コーディネーター指導の下、小学校生活の思い出の場所を写生しています。この絵は卒業式会場の飾りとして掲示される、鈴西小の伝統となっています。風景を写生する機会が少ない子どもたちですが、名村先生の助言でドンドンよくなっていきました。全員分を紹介できませんが、6年生の思い出の場所をいくつか紹介します。



■ 児童集会



12月14日に二学期最後の児童集会がありました。冒頭で赤い羽根共同募金で集まった募金を社会福祉協議会の方に贈呈しました。集まった募金は児童福祉・高齢者福祉・障がい者福祉などに活用されるそうです。ご協力ありがとうございました。

次は、代表委員から登下校時の歩き方についての啓発がありました。

た。車が近づいてきた場合、地域の方と出会った場合、ふざけ合ってしまった場合など日常の想定される場面を劇風に分かりやすく教えてくれました。

最後は、SDGsに関するクイズでした。児童集会の定番プログラムになっています。楽しみながらSDGsに関する知識が深まるといいですね。

